



理念共有し  
次の一步へ

理念共有し 次の一歩へ

こうして2日間にわたり大会は盛会のうちに幕を閉じ、参加者はそれぞれの地域での実

産資源の利活用」「環境負荷の軽減」「適正施肥による地力維持」といふ全国土の会の3本柱

本大会を通じて、「国を見て地域資源を循環させる意義を実感し、地で着実に広がりつつある。全国土の会では、大会は東京農業大学廿二年春の開催が予定されている。

が改めて確認された。化学肥料依存からの脱却とともに、国産肥料と肥料自給の実現を目指す。

践に新たな決意を胸に歸路についた。参加者からは「現場を見て地域資源を循環する意識を実感し、地で着実に広がりつつある。全国土の会では、大会は東京農業大学廿二年春の開催が予定されている。



初の鹿児島県での開催だったが、全国から多くの会員らが参加した



# 堆肥ペレットを製造する鹿児島県経済連の 地域資源ペレットセンター



知覧町の前原製茶を視察。昨年の全国茶品評会で1等・農林水産大臣賞を受賞している

# 資源循環で持続農業を 全国土の会 会長 後藤 逸男



農家のための土と肥料の研究会「全国土の肥料研究会」は、10月で37年目を迎えた。これをおひこえに会員各位のご協力・ご支援のお陰であり、厚く御礼申し上げます。活動の基本は農業生産者自らが土と肥料の基礎知識を学び、土壤診断に基づいた施肥管理により肥料の浪費を抑え、生産経費を軽減するとともに、肥料資源の節約・環境負荷を軽減し、環境にやさしい農業生産を実践することになります。

の前原製茶の協力を得て、有機栽培茶園の土壤診断調査を行いました。また、「みどり戦略」では化学肥料使用量の30%削減も掲げられていました。昨年からの米不足が社会問題になりましたが、化学肥料の削減や家畜ふん堆肥の利用が関係しているのではないかともささやかれています。家畜ふん尿や下水汚泥、生ごみなどの国内産バイオマス資源を肥料として活用することも、当会発足以来訴え続けており、これらの資源を肥料として活用するには、それぞれの特性をよく理解することが必要です。

鹿児島大会を開催するにあたり、鹿児島土の会事務局の長島様（長島商店）、鹿児島

このほか、ピーマン・大根・サヤエンンドウ・ソラマメが主要品目となっています。そして鹿児島は畜産が盛んな地域で、ペレット堆肥センターもその一例です。農業を営む私たちには、何よりも後藤会長の言葉にもありますように「土力(どりょく)」に支えられています。ここ2、3年は気候が非常に厳しく、いろいろな影響がでていますが、健康な土で健康な作物を育て、消費者に食べていただくことが、私たち農家の使命です。どうか皆さまも健康に留意され、それの地域で頑張つていただければと思います。

さく 鹿児島県は国一の荒茶生産県となりました。抹茶ブームにより茶の輸出量も増加し、そのためのJAS認証の取得が進んでいます。今大会は先立ち、令和6年度大臣賞を受賞した知覧

# 鹿児島土の会 会長 長井 正二

全国士の会の全国士  
会が鹿児島で開催され  
ますことを、心よりお  
喜び申し上げます。鹿  
児島は南北約600  
キロに及ぶ広大な鹿児  
島と温暖な気候に恵ま  
れ、多様な農畜産物が  
生産されています。農  
業産出額は北海道に次  
いで7年連続で全国第2  
位を誇り、今後とも食  
料供給基地としての

人の中、全国主の会が実践されている土壤診断に基づく土壤改良や施肥管理の取り組みは、肥管理の取り組みは、化学肥料の使用量を低減し、農家経営の安定に資する極めて重要な活動であると認識しております。県といたしましても、土壤診断に基づいた土づくりの普及や指導を進めるとともに、

農業における環境負荷の低減と持続的な発展につながることを心より期待しております。

ご参考のため、今後ますますのご健勝と、活躍をお祈りいたします。お祝いの言葉とおもてなしの精神で、皆さまの活動がますます成功して、農業の発展に貢献していきたいと思います。

有の力会が皆様にとって有意義な学びと交流の場となりますよう、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

鹿児島県知事

重要な役割を果たして  
まいりたいと考えてお  
ります。





## 稻山氏の講義を熱心に聴くJAさがトレーニングファームの研修生

私は山口】司さん（武雄市）とは昔からお付き合いがありま  
すし、トレーニングファームができた当時からお世話になつていま  
した。皆さんにお会いでき、本当にうれしい気持ちでいます。  
私は研修生の皆さんと初めて会つたときは、「やめるなら今のうちですよ」と言つて  
います。農業は一度始めてしまつと、やめられなくなるからです。年か2年で元が取れる  
JAがセッティングしてくれたハウスでキューを作ることができますが、借金を背負つ  
てのスタートになります。いまはハウスの工費が非常に高く、1坪あたり10万円以上はするでしょう。1970年頃は1坪4千円でした。12月に種をまいて年明けころに定植し、6月まで収穫すれば1年で元が取れる  
もいますが、皆さんは資金で栽培を始めた方

キュウリ栽培技術の第一人者として知られる稻山光男氏が、佐賀県の「JAさがトレーニングファーム」の研修生を対象に基礎講習を行い、栽培管理の基本と農業に向き合う姿勢を伝えた。基礎的な内容ではあるが、読者の方々もあらためて初心に立ち返り、稻山氏の言葉から原点を感じ取つていただければ幸いである。

# 稻山光男氏の基礎講習(1)

それが今ではまったく違います。ハウスを建てるだけでも大変ですし、資材も高いですから私はいつも、「やめるなら今のうちに」と言っています。でも、皆さんにはこれから夢を持つて栽培を始めるわけですから、キュウリを作るにはどうしたらよいか、という話をします。

あります。研修会でも「高品質なものをつくろう」と盛んに言つていて、私も山口さんは「とにかく量を取らなければダメだ」と言い続けてきました。それが山口さんがよく言つている40ントりなります。最初は雌花でも雄花でもなく、あるときにはどちらかになる。最初から男に生まれた、女に生まれたというわけではなく、それを決めて量より質という時代がまづあります。つまりどこに花がつか決まります。花がつかないままになりますが、キュウリは違います。どこに花がつかわからず、私は山口さんは「とにかく量を取らなければダメだ」と言つて、最初は雌花でも雄花でもなく、あるときにはどちらかになる。最初から男に生まれた、女に生まれたというわけではなく、それを決めることがあります。研修会でも「高品質なものをつくろう」と盛んに言つていて、私も山口さんは「とにかく量を取らなければダメだ」と言つて、最初は雌花でも雄花でもなく、あるときにはどちらかになる。最初から男に生まれた、女に生まれたというわけではなく、それを決

まずは量を取ることが基本  
から良いのを選べばぬるのは温度や日長な  
い。少ない中から良  
い品を選ぼうとすると  
どうしても無理が出来  
ます。たくさん取れば、  
節が多くなければ雌花  
も増えません。つまり、  
たくさん取るためには

1962年（昭和37年）に埼玉県農業試験場・越谷支場に勤務し、以来一貫して施設園芸、特にキュウリの研究・技術指導に携わる。1967年からそ菜花き部（そ菜担当）に所属し、1991年にはそ菜部長に就任。施設栽培キュウリの品種特性調査、作型開発、增收技術、高品質生産技術、環境制御法の確立に取り組んだ。1996年に埼玉県園芸試験場の副場長、1997年に鶴ヶ島洪積畑支場長を歴任。2000年には埼玉県農林総合研究センター園芸支所長として、研究現場の総括を務めた。2003年からは太洋興業（株）技術顧問まではMKVドリーム（現・MKVアドバンス）開発センター守谷の技術顧問として活躍し、多収穫、秀品率向上などの効果があるNFT・散水水管水耕栽培「かつばブランド」（三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株）が継承・販売の開発に携わった。

それと土づくりですが、単に堆肥をたくさん入れればいいというものではありません。物理性や化学性を持つた土にする。これが本当の土づくりです。だから「堆肥を入れればいい」という簡単な話ではなく、キュウリが対応できるような土壌していくことが大切です。

生産者は「キュウリを作る」と言いますが、

通路が硬くなる  
ほど見にいこう  
～現場で感じ、考え  
ることの大切さ～

通路が硬くなるほど見にいこう  
～現場で感じ、考えることの大切さ～

実際ににはキュウリが育つのを手伝っているだけで、育ちやすい環境を整えてあげることが大切です。要するに、地上部では光合成を行い、地下部では養分吸収をどう高めてやるかにうまくやらせるのが、单に堆肥をたくさん入れればいいというのではありません。物理性や化学性を持つ土にすること。これと王づくりです。それと王づくりですが、单に堆肥をたくさん入れればいいといふのではありません。物理性や化学性を持つ土にする。これが本当の土づくりです。だから「堆肥を入れればいい」という單純な話ではなく、キュウリが対応できるような土壌にしていくことが大切です。

生産者は「キュウリを作る」と言いますが、最初は何をどう見ていいのかわからなかつたが、そこで教わりました。よ

れども、毎日通つて  
るうちに、何か感じ  
ものが出てくるので  
すから若い人に  
く言つているのは  
ハウスの通路が硬く  
のほど毎日行きなさ  
「一と朝、昼、夕方、  
それぞれ見に行く。そ  
すると、何か感じる  
のが出でてきます。そ  
が観察です。  
そして「なぜ、どう  
てそうなったのか」  
考えることが大事で  
私は研究員でした  
場を回る中で、温度  
足りなくてキュウリ  
伸びないというハウ  
を見たところ、枝は  
く出ていた。これは  
温が関係していると

わかりました。つまり、夜の温度管理で枝をさせることができるのは、その元にいましたが、そうしたのは、そうした場での気づきなのが、そのまま皆さんが「夜漏理が大事だ」と言つたのは、そうした場での気づきなのです。

り、から1か月で一生育します。この期間がその年の栽培管理がとにかく一生間はとにかく一生やらなければなりません。

もう一つ大事な定植と活着です。これがまず第一歩。苗木を購入する人が分ですが、届いたの状態をよく見てできるようにしなければなりません。1ついてから植えると少し広げて置いてなど、状態を見ます。そして定植しますが、定植は、地温が20~22度あるのが理想です。普通は全面をしますが、定植

生が決まりませ  
る。そこから湿度が上がつて苗のまわりを包みます。全面マルチにすると湿度が下がつてしまい、苗が弱ります。小さな苗ほど湿度が大事です。こうした微妙な管理の積み重ねが活着を左右します。

研修生の皆さんト  
レーニングファームを卒業して自分の経営をしていくわけですが、最初の3年で自分のギュウリ作りの形が決まります。その3年間で考え方や管理の方法を固めないと、いつまでにあとで調整します。  
「悪かった」と言うだけの栽培で終わってしまいます。

（次号につづく）

元の力を養おう

れる稻山光男氏が、佐  
川研修生を対象に基礎  
的姿勢を伝えた。基  
めて初心に立ち返り、  
れば幸いである。

従講習(1)

取り組むわけですが、  
農業生産というのはど  
んな作物でも絶対的に  
多収でなければなりま  
せん。とにかく量を取  
らなければ駄目です。  
1980年前後、いわ  
ゆる飽食の時代と呼ば  
れた頃は、景気が良く  
て量より質という時代  
がありました。研修会  
建てるだけでも大変で  
すし、資材も高い。で  
すから私はいつも、「や  
めるなら今のうちだ  
よ」と言います。でも、  
皆さんほんれから夢を  
持つて栽培を始めるわ  
けですから、キュウリ  
を作るにはどうしたら  
いいか。これが山口さん  
がよく言つてい  
ました。それが山  
口さんは「どうぞ」とい  
う。最初は雌花でも雄  
花でもなく、あるとき  
にどちらかになる。最  
初から男に生まれた、  
すい環境をつくる。

その中から良いものを  
選び、悪いものは思い  
切って捨てればいい。  
借金をして始めるな  
ら、なおさらたくさん  
取るべきです。たくさん  
取れば、その中でい  
いものは高く売れる  
し、曲がり果なども何  
らかの形で売れます。  
では、どうすればた  
くさん取れるのか。そ  
れは雌花をたくさんつ  
けることです。トマト  
はどこに花がつくか決  
まり、キュウウの木  
を常に元気な状態に保  
たなければなりません  
。草勢を強くしてお  
かれることです。地下部  
の環境を整える  
ことがその鍵になります。  
それには地上部と  
地下部は地温・水分・  
酸素など。この二  
方をうまく管理し  
て、キュウリが育ちや  
すい環境をつくる。

**OS 交配**

# この夏・秋の定番実力品種!!

最高品質・シャリッとおいしく食感抜群

**バランス良い耐病性品種  
かっぱん強し**

**ゆうみ (結実) 637**  
1月～3月まき用

**エクセレント620**  
1月～10月まき用

**ちなつ PVP  
第20749号**  
1月～8月まき用

**席巻普及実力品種**

**エクセレント節成**

1号	7月～9月まき用
2号	1月～8月まき用
353	1月～8月まき用

相性ひったり、バランスOK  
**ブルームレス台木**

**ゆうゆー輝黒タイプ** **R K-3**

**Re: ストロング一輝**

**Re: エキサイト一輝** 新品種

**複合耐病性品種  
ウドンコ・褐斑・ペト病に強い**

**まりん**  
1月～8月まき用

**ニーナ**

**ニーナZ (ゼット)**  
Zはニーナより草勢強め  
周年栽培可能

**かねそなえ  
兼備1号**  
8月～9月及び  
12月中旬以降2月まき用

**かねそなえ  
兼備2号**  
1月中旬～8月中旬まき用

**はやか**  
2月～7月まき用

**ゆうしう  
勇翔**  
6月～2月まき用

**きゅうり・かぼちゃ・メロン育成元**  
**株式会社埼玉原種育成会**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地  
TEL : 0480-85-0854 (代) FAX : 0480-85-0407

**SGI**

**SEED**

**OS 交配種子 発売元**  
**株式会社シード**  
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2,616 番地  
TEL : 0480-85-7211 (代) FAX : 0480-85-0407



外張りはMKVのスーパーダイヤスター



整然と管理されたトマト。樹勢が均一で果実の揃いも良い

長崎県諫早市の中村さんは35坪の規模でミニトマトを栽培している。8月上旬から中旬に定植し、翌年6月まで収穫が続く。家族2人とパート3人で作業を分担して省力化と品質向上を両立。ハウスには灌水装置やCO<sub>2</sub>供給装置を導入しており、トマトに快適な環境づくりを徹底する。「消費者に良いものを届けたい」との思いが、日々の管理に表れている。ミニトマト栽培を始めたのは17年前。父親がハウスみかんを栽培しており、果樹からの転作として始めたのがきっかけだった。現在では地域でも屈指の生産者として知られ、諫早のミニトマト部会40名のうち、収量は常に上位3位に入るという。

長崎県諫早市長田町

中村則之さん



## ミニトマト高収量を実現 先進設備で省力化と品質を両立

### MKVアドバンス

スーパーダイヤスターと  
快適空乾を使用



内張りは透湿性に優れる快適空乾



自動灌水装置。日射量に応じて灌水する

### 小鈴キングを メインに栽培

#### メイドンに栽培

#### メガジユール

## 千葉県品種審査会 キャベツ審査結果(入賞7点)

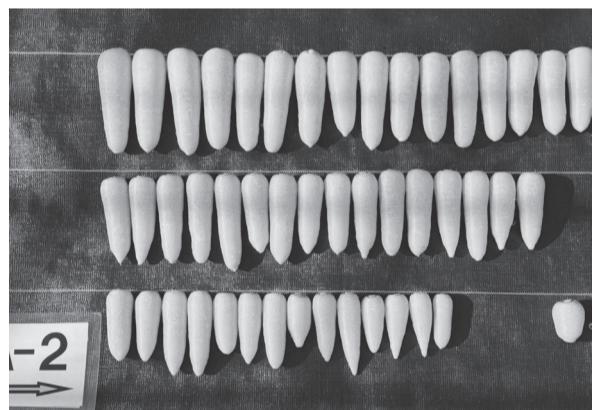
順位	立毛	収穫物	合計	品種	出品会社
1	84.0	255.4	339.4	TCC536	渡辺採種場
2	82.5	253.9	336.4	MKS-C003	ヴィルモランみかど
3	86.5	246.4	332.9	T C 1217	渡辺採種場
4	84.0	245.5	329.5	ふうりん	サカタのタネ
5	82.2	246.8	329.0	TC7219	渡辺採種場
6	83.3	244.9	328.2	恋唄	トーホク
7	80.6	245.6	326.2	YR春楽	日本農林社



1位の渡辺採種場「TCC536」

## 千葉県品種審査会 にんじん審査結果(入賞6点)

順位	立毛	収穫物	合計	品種	出品会社
1	85.5	253.9	339.4	F25-3	フジイシード
2	79.1	251.1	330.2	恋うさぎ	ナント種苗
3	83.5	245.0	328.5	TCH-786	タキイ種苗
4	74.6	251.7	326.3	FYC-039	住化農業資材
5	85.0	240.6	325.6	F25-1	フジイシード
6	84.3	237.0	321.3	ペーター536	サカタのタネ



にんじんの育種に特化したフジシードの「F25-3」が1位に

最高の苗作りをお手伝いします  
**TY 育苗ポット培土**  
果菜類、花卉、その他鉢上げ用  
50ℓ入り  
(製造充填時容量)



- 7つの微量元素(マンガン・ホウ素・鉄・亜鉛・銅・マグネシウム・モリブデン)入り。
  - 通気性・保水性・透水性に優れた「育苗培土」です。
  - 生育に最適なpHに調節してあります。
  - 軽量設計で作業性がアップします。
- <使用上の注意点>
- 最初に使用する際は、十分に灌水して下さい。
  - 栽培中は本品を乾燥させないようにして下さい。
  - 初期生育の肥料が入っておりますが、状況に応じて追肥を行って下さい。

## 【肥料添加量 mg/l】

チップ	リンサン	カリ	pH	EC
200	600	200	5.5~6.5	1.0以下

スイカ・メロン・接ぎ木台木・小松菜  
ハクサイ・からし菜・ニラ等の育種元

**東洋農事株式会社**

〒309-1127 茨城県筑西市桑山2000-1  
電話 0296(57)2225 代 FAX 0296(57)9712

第73回千葉県野菜品種審査会は、キャベツにんじんを対象に審査会を開催した。キャベツの部は11月21日、旭市の農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所東総野菜研究室で行われた。千葉県はキャベツ生産量が群馬、愛知に次ぐ全国第3位であり、県内の主要産地(銚子市・旭市・野田市)では冬どり・春どりを中心に戸荷体制が整った。しかし近年は猛暑に伴う生育障害や黒斑細菌周年出荷によって、春どりを中心に猛暑に伴う生育障害や黒斑細菌が求められている。今年はサカタのタネ、トーホク、渡辺採種など13社24品種が出品された。入賞は7

点で、専門審査員14名特別審査員10名の計24名による厳正な採点の結果、1位は株渡辺採種場の「TCC53

6」、2位はヴィルモランみかどの「MKS」と、3位は「TC003」である。キャベツは重量野菜であり、定植・収穫などの作業負担が大きい。大規模産地では省力化機械の導入が進む一方、中小規模では機械化投資が難しく、生産性にばらつきが生じている。

一方、台風・長雨・猛暑・乾燥など、露地野菜が受けた気象災害は年々深刻化している。風害対策や排水整備を進め難度が増す中、県内の収穫量は約12万tと全国上位を維持しつつ、位置づけている。主要産地は富里市、八街市、山武市、香取市などで、春夏にんじんと「秋にんじん」の両方が栽培されている点が特徴である。大消費地へ向けてのアクセスが良好である。大消費地へ向けての最新品種を栽培されることに加え、春夏から冬にかけて安定供給が急務である。

栽培される点が特徴である。大消費地へ向けての最新品種を栽培されることに加え、春夏から冬にかけて安定供給が急務である。

栽培される点が特徴である。大消費地へ向けての最新品種を栽培されることに加え、春夏から冬にかけて安定供給が急務である。